

令和7年度 第3回とみやわくわくミーティング 『とみやわくわく子どもミーティング』実施報告書



日時	令和7年12月15日(月) 14:00~16:00
場所	富谷市役所 3階会議室
テーマ	みんなでつくろう！子どもにやさしいまちづくり条例(仮称) ～子どもにやさしいまちづくりに向けて私たち子どもができること～
参加	市内小学校 児童 15名 (男性8名、女性7名)
座長	富谷市長 若生 裕俊
アシスタント	宮城県富谷高等学校 生徒 6名



市長あいさつ
オリエンテーション・参加者自己紹介

子育て支援センターより
「子どもにやさしいまちづくり」についての説明



ミーティング1

子どもの権利(けんり)条約の「4つの原則」の中で、あなたが特に大切にしたいと思うものを2つ選び、その理由と、それを守っていくために必要だと思うことは

- ・ 障がいや国籍などで日本で差別されることがあることをTVや新聞などでみたことがあり、みな同じ人間なのに可哀想だなと感じる。
- ・ 人種や国籍だけでなく、身近な差別があってもほしくないです。そのために、一人一人が相手を思いやる優しさを持つことが大切だと思う。
- ・ 自分でSNSの使い方を考えて、誹謗中傷などをしていないか、確認する。



差別の禁止

すべての子どもは、子ども自身や親の人種や国籍、性、意見、障がい、経済状況などどんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されます。

- ・ 子供にとって最もよい行動をすることで、その行動は未来にもつながる。
- ・ 子供の個性を大切にし、その個性を活かした活動を提案することで子供が育ちやすい環境になる。
- ・ 各学校でわくわくミーティングのようなみんなのために考える時間をもっと増やし最善の利益を考える。

子どもの最善の利益

子どもに関することが決められ、行われる時は、「その子どもにとって最もよいことは何か」を第一に考えます。

- ・ みんなが自分の意見、考えたことをしっかりみんなに伝える時間をつくる。

子どもの権利条約 「4つの原則」

- ・ 「心」も体も健康で安定で幸せな暮らしを手に入れることが一番だと思う。
- ・ 安全が確保されると安心にもつながる。
- ・ ニュースで虐たいで亡くなる赤ちゃんや子供が多いと感じる。人は幸せになるために生まれてきていると思うし、みんな立派な大人になるべきだと思う。
- ・ 1人1人に寄り添って話を聞いて、亡くならない状況を作ることだと思う。

生命、生存及び発達に対する権利

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療、教育、生活への支援などを受けることが保障されます。

子どもの意見の尊重

子どもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮します

- ・ 子どもだからやらせない、危ないからやらせないのはよくない。
- ・ 意見を否定して意見を押しつけている場面を時々見かける。

- ・ 意見を安心して言える場所を作る必要があるし、意見を言える安心した環境づくりが必要だと思う。
- ・ 大人の意見だけでなく、子供にも耳を傾けることで新しい視点から物事を考えたりすることができて、世界にない新しい取組を富谷市から始めることができると思う。



ミーティング2

「子どもにやさしいまちづくり条例(仮称)」第18条について、わかりにくい言葉はありますか。また、その代わりになるわかりやすい言い方や表現の仕方がありますか。

第18条 こどもの取り組み

① こどもは、この条例の基本理念にのっとり、こどもにとって大切な権利の保障を求められます。

【わかりにくい言葉→わかりやすい言い方・表現】

『基本理念』→最も大切にする考え方

それぞれの人がもつ価値観や存在意義を示す根本的な考え方
子どもが成長していく上での約束

『のっとり』→したがって、基づき

『権利』→自分の気持ちや自分の行動、自分らしい

『保障』→“大切な権利を守ってもらう”ことができます
守る、守ること



② こどもは、自分自身の心身および個性を大切に、自身の権利の保障を求められることができると同時に他者の個性や権利も尊重し守るよう努めます。

【わかりにくい言葉→わかりやすい言い方・表現】

『心身』→心も体も

『および』→～と

『個性』→特ちょう

『権利の保障』→誰もが人らしく生きるため

毎日安心して生活できるルールを守り、幸せに暮らせる社会を作る

『保障』→人権や国民をしがいから守る

『他者』→他の人、相手、あなた

『尊重』→大切に、価値のあるもの、みとめ合う

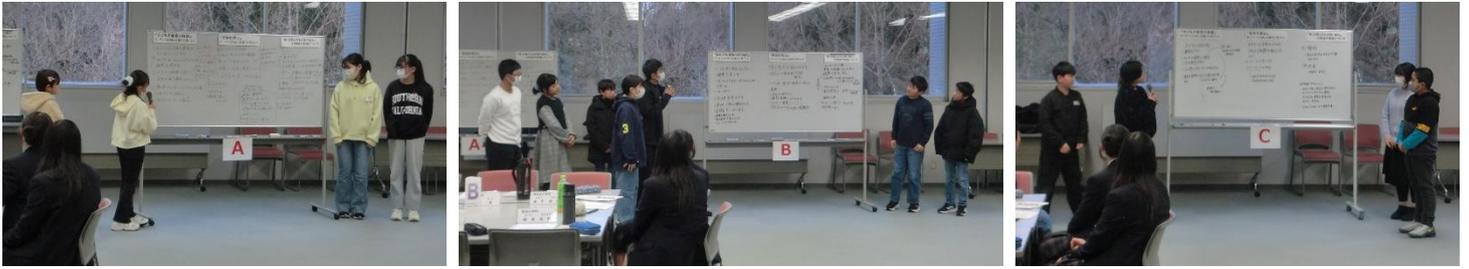


ミーティング3

子どもにやさしいまちづくりをすすめていくために、こどもの取り組みとしてできそうなこと、やってみたいことはありますか。

- ・ わかりやすくあらわした条例をつくってみたい
- ・ 公共の場にポスターをはる
- ・ 市が考えている計画に子供の意見を伝える
- ・ 子供と大人が交流していっしょに学べる会を作る
- ・ ポスターやネットなどで広めて、まずは富谷に広める
- ・ 上学年が下学年のめんどうなどをみて、みんなで安全に遊ぶ
- ・ 田植え、木を植える、障害者体験、給食作りの体験
- ・ 子供達の意見を発信できるポストを作る
- ・ 子どもと大人などが交流できる場所を作る
- ・ ボランティアなどの社会貢献が出来る場をつくる
- ・ 子どもの権利条約のことを、ポスターや、可能であればネット上などで広めてもらい、権利条約のことについて大人にも知ってもらいたい





【感想】

- ・ 今回のミーティングで色々な小学校の人たちと意見交換して、富谷高校の人たちもきて話し合いに参加し、話を進めていただきとてもよい経験をしたなと思いました。
- ・ いろんな人がいたのでとてもきんきょうしました。しかも市長さんもいらっやったのでさらにきんちょうしました。
- ・ 他の学校の人との話し合いが出来る貴重な場に出れて良かったと思いました。こういう機会をもっと増やしてほしいです。
- ・ 今日は高校生のおかげでよく話すことができました。大人の言葉がすごくやさしくてわかりやすかったです。
- ・ 回りの意見を聞くことでより自分の考えをふかめられました。
- ・ これで富谷市がもっと良い市になったらいいなと思います。
- ・ 他の学校の人との話し合いが出来る貴重な場に出れて良かったと思いました。
- ・ 全体だけでなく、グループに分けて話し合ったのがとてもいいなと思いました。それに、マイクを使用したのもとてもよかったです。今度はいろいろなグループに変えて、いろいろな人と話し合うのもいいと思います。
- ・ よりよい富谷市にしていくためにどのようにすればよいか参考になりました。意見交かんから出た意見を参考に、総合的な学習の時間に役立てたいです。貴重な体験をありがとうございました！
- ・ 市長さんが進行役をしていてやりやすかった。どんな意見にも耳をとおし、感想をいって、こういう話し合いを自分もできたらいいなと思った。
- ・ いろいろな学校の人たちと交流して話し合いとても楽しかった。
- ・ 今回のミーティングは、これからの条例に関わるミーティングですごく良い経験になりました。今回のミーティングで得たものをこれからの生活に活かしたいです。
- ・ 私が考えていた意見を市のみなさんに話すことができ、とてもよかったです。他の人たちの意見もきけ、よいさんこうになりました。

(原文そのまま)

